

【平成31年】

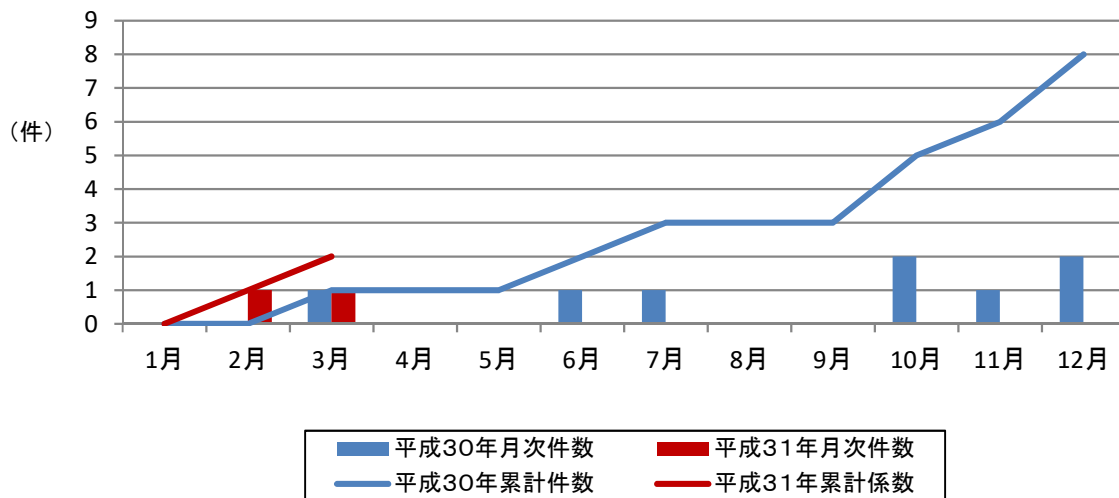
■管内における事故発生状況(3月速報値)

※数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。

○ガス事業法(ガス関係報告規則第4条)関連

事故の種別 (事象別)	31年3月分				前月件数	前年同月 件数	31年累計				30年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		件数	死	重
ガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事中のガス工作物の損壊又は操作等による人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給支障事故					1	1	1	0	0	0	2	0	0	0
製造支障事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス工作物の損壊事故					0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ガス漏洩による爆発又は火災事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
避難、家屋破損、交通困難等					0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
消費機器使用に伴う人身事故					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費機器、ガス栓から漏洩したガスへの引火による事故	1				0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	8	0	0	0

ガス事故発生件数



事故の種別 (段階別・事業別)		31年3月分				前月件数	前年同月 件数	31年累計				30年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		件数	死	重
製造段階	小売 (旧一般ガス)					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小売 (旧簡易ガス)					1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
供給段階	一般ガス導管 (旧一般ガス)					0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
	小売 (旧簡易ガス)					0	1	0	0	0	0	2	0	0	0
消費段階	小売 (旧一般ガス)	1				0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	小売 (旧簡易ガス)					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	8	0	0	0

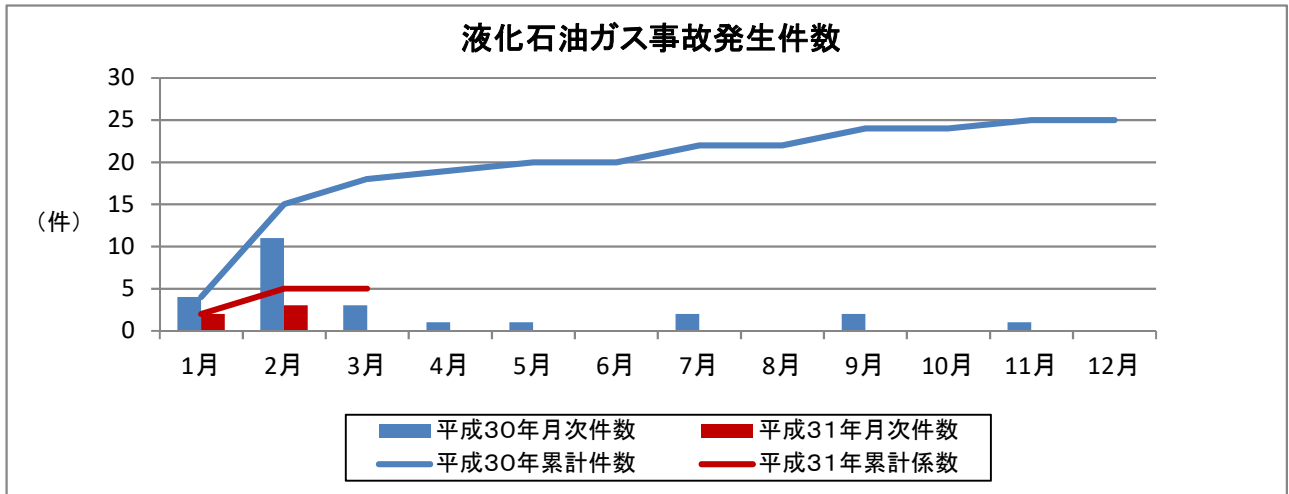
- ① 【発生年月日】 平成31年3月7日  
【場所(県名)】 宮城県  
【事業者区分】 小売事業者  
【事故の種別】 設備不良(需要家のガス栓との接続確認不足)  
【事故の概要】 需要家がガスコンロ周りを掃除した際に、ガス栓と常に接続していた炊飯器用の迅速継ぎ手の取り外しリングに接触したことによりガス栓との接続が不完全となった。このため微量のガスが漏出し、その状況下において、ガスコンロを使用したことによりコンロの火が漏出したガスに引火したものと推定される。
- 【被害状況】 なし

○液化石油ガス保安法(液化石油ガス関係事故措置マニュアル)関連

事故の種別	31年3月分(※2)				前月件数	前年同月 件数	31年累計				30年累計			
	件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
		死	重	軽								死	重	軽
漏えい					0	2	1	0	0	0	7	0	0	0
漏えい爆発					0	0	0	0	0	2	0	0	3	
漏えい火災					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中毒・酸欠					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	9	0	0	3
雪害(※1)	漏えい				3	1	4	0	0	0	15	0	0	0
	漏えい爆発				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	漏えい火災				0	0	0	0	0	1	0	0	1	
合計	0	0	0	0	3	3	5	0	0	0	25	0	0	4
容器の喪失又は盗難	4				0		5	0	0	0	18	0	0	0

※1: 除雪、屋根からの雪下ろし等の人為的なものは含めていない。(人為的なものについては、一般事故として集計)

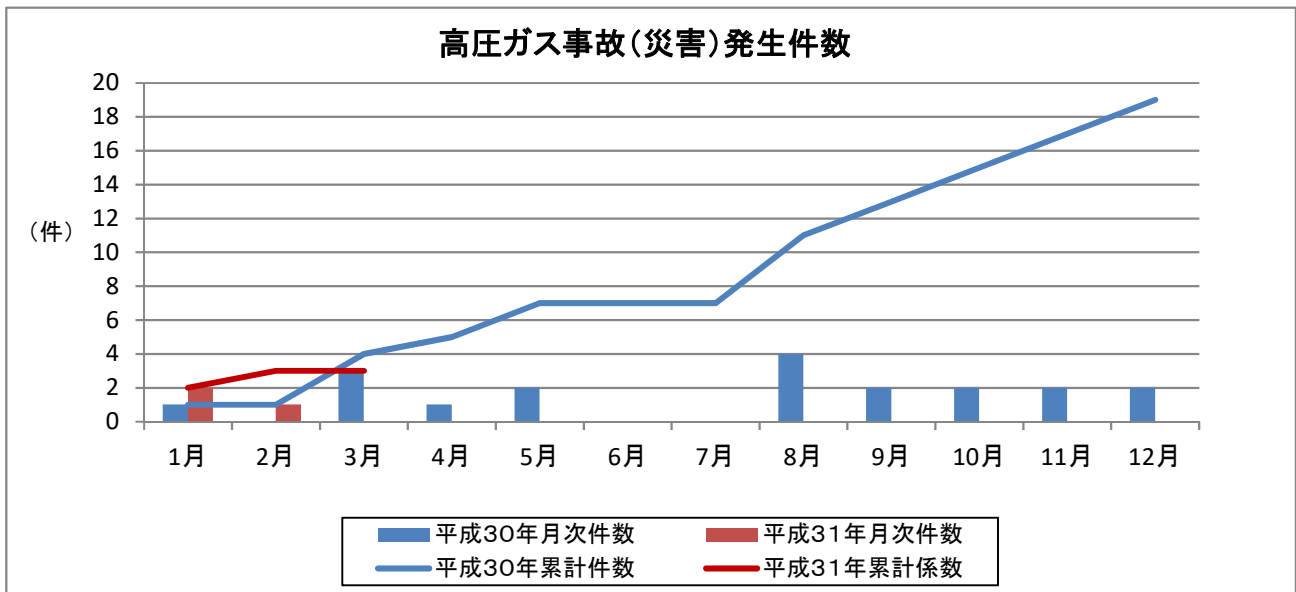
※2: 各県から速報のあったものを計上。



○高圧ガス保安法(高圧ガス保安法事故措置マニュアル)関連

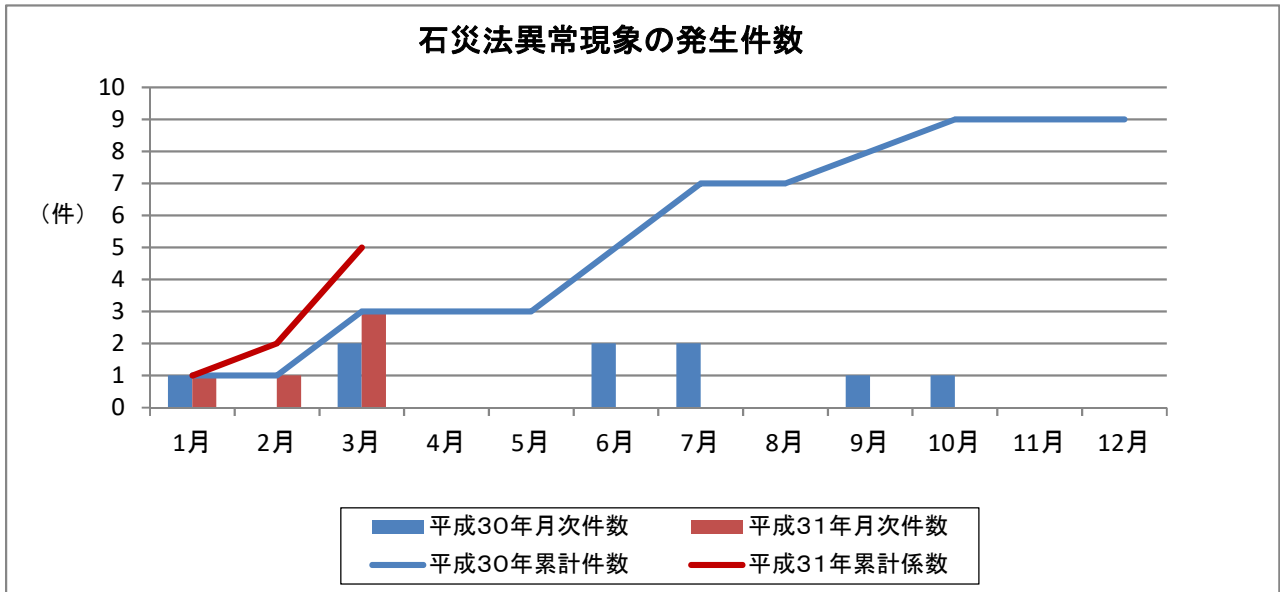
事故の種別		31年3月分(※2)				前月件数	前年同月 件数	31年累計				30年累計			
		件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
			死	重	軽								件数	死	重
災害	爆発					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	火災					1	1	1	0	0	2	0	0	1	
	噴出・漏えい					0	2	2	0	0	17	0	0	0	
	破裂・破損等					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	1	3	3	0	0	19	0	0	1	
容器の喪失又は盗難						0	1	0	0	0	7	0	0	0	
危険な状態						0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	0	0	0	1	4	3	0	0	26	0	0	1	

※3: 各県から速報のあったものを計上。



○石油コンビナート等災害防止法(第23条第1項の異常現象)関連

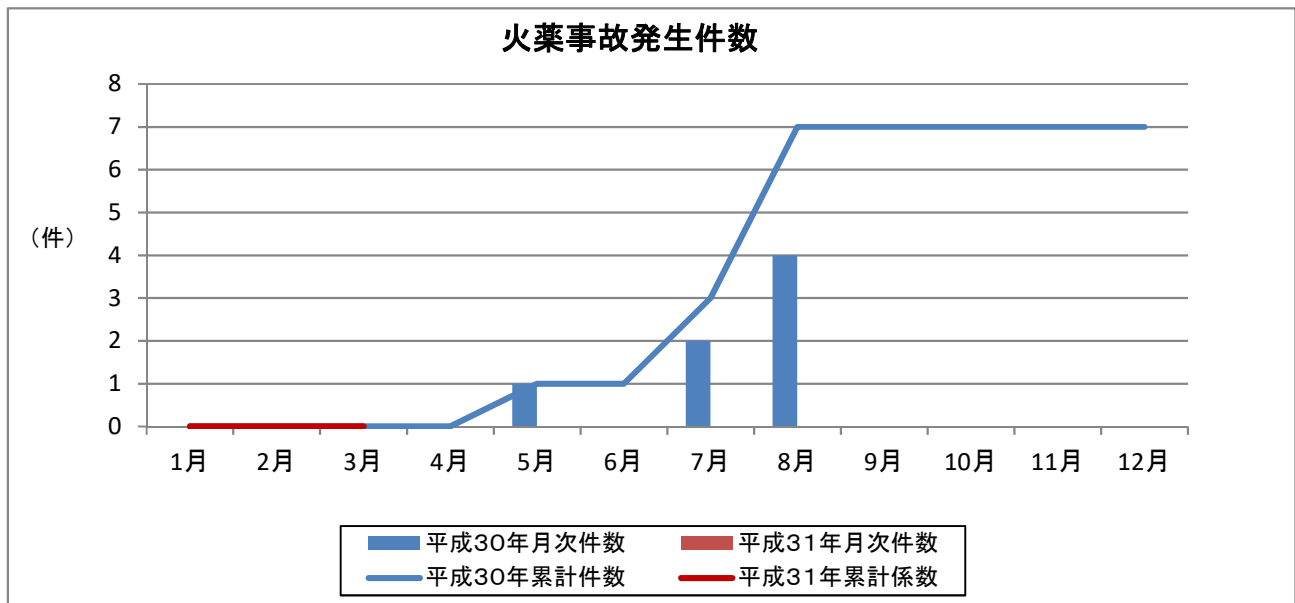
異常現象の種別	31年3月分				前月件数	前年同月 件数	31年累計				30年累計			
	件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
		死	重	軽								件数	死	重
出火	1				0	1	1	0	0	0	3	0	0	0
石油等の漏洩	2				1	1	4	0	0	0	6	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	0	0	1	2	5	0	0	0	9	0	0	0



①	<p>【発生年月日】 平成31年3月11日</p> <p>【場所(県名)】 福島県</p> <p>【事業者区分】 第一種事業所</p> <p>【事故の種別】 漏えい</p> <p>【事故の概要】 屋外タンク貯蔵所のタンクを休止するために、同タンクから別のタンクへの油の移送開始後、定期の巡回で、移送先のタンク側の配管から、C重油が防油堤内に漏えいしているのを発見し、バルブ操作により漏えい防止措置を講じたもの。原因は調査中であるが、配管の2箇所にも漏えい箇所と思われるピンホールを確認し、応急措置として、ピンホールにカップリングを設置した。また、配管内にある残油をポンプを使用してタンクへの移送を完了するとともに、防油堤の汚染土壌の回収を完了した。防油堤内の漏えい量は約150リットル。</p> <p>【被害状況】 なし</p>
②	<p>【発生年月日】 平成31年3月12日</p> <p>【場所(県名)】 福島県</p> <p>【事業者区分】 第二種事業所</p> <p>【事故の種別】 出火</p> <p>【事故の概要】 銅の精製作業を行う精製工場において、炉を動作させるモーターへの給電配線から出火し、当該電気配線の被覆及び配線ラックが焼損したもの。原因は現在調査中。</p> <p>【被害状況】 物的被害:電気ケーブル、ケーブルダクト</p>
③	<p>【発生年月日】 平成31年3月19日</p> <p>【場所(県名)】 福島県</p> <p>【事業者区分】 第二種事業所</p> <p>【事故の種別】 漏えい</p> <p>【事故の概要】 配管置換作業(配管内を低濃度ホルマリンで置換)のために遠隔操作弁を開放したが、本来は操作しない弁も誤って開放したため、接続するタンク上にホルマリンが流入し、タンク上部マンホールからホルマリンがオーバーフローし、防液堤に0.7㎡漏えいしたものの。防液堤内に漏洩したホルマリンを排水タンクへ全量回収し、防液堤内を水洗いした水洗液も排水タンクへ回収した。</p> <p>【被害状況】 なし</p>

### ○火薬類取締法(火薬類事故措置マニュアル)関連

取扱の種別	31年3月分				前月件数	前年同月 件数	31年累計				30年累計			
	件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
		死	重	軽								死	重	軽
製造中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
消費中					0	0	0	0	0	7	0	0	2	
運搬中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
貯蔵中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がんろう中					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	2	



## ◆平成31年の事故概要

## ○ガス事業法

発生年月日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2019年3月7日	宮城県	ガス小売事業者(旧一般ガス)	漏えい・引火	需要家がガスコンロ周りを掃除した際に、ガス栓と常に接続していた炊飯器用の迅速継ぎ手の取り外しリングに接触したことによりガス栓との接続が不完全となった。このため微量のガスが漏出し、その状況下において、ガスコンロを使用したことによりコンロの火が漏出したガスに引火したものと推定される。	なし
2019年2月25日	青森県	ガス小売事業者(旧簡易ガス)	供給支障	特定製造所の非常用発電機の冷却水ヒーター一部の漏電により漏電ブレーカーが作動し、外部電源が喪失。非常用発電機のバッテリーの不具合により起動出来なかったため、電源が喪失し、温水式化装置に温水を供給する温水ボイラー及び温水循環ポンプが停止した。温水式化装置からのガス発生が出来なくなり、自然気化ラインからの供給に切り替わったが、能力不足から供給圧力が0.6kPaとなり、マイコンメーター出側の低圧ガス遮断装置が作動し、供給支障が生じたもの。	なし

## ○液化石油ガス保安法

発生年月日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2019年2月19日	山形県	消費者	漏えい	消費者から販売業者に、ガス漏れ警報器が鳴っている旨の通報があり、販売事業者は、消費者にLP容器のバルブを閉めるように指示。販売事業者が、雪に覆われていた配管を掘り起して現場を確認したところ、積雪の重みにより、消費側配管(横引き)が変形し、ソケット部分からガスが漏れていたもの。	なし
2019年2月17日	山形県	消費者	漏えい	消費者から販売業者に、ガスが出ない旨の通報があり、販売事業者が現場を確認したところ、融け始めた積雪の重みにより、消費側配管が変形し、エルボ部分に亀裂が入りガスが漏れ、流量超過によりメーター遮断されていたもの。	なし
2019年2月9日	山形県	消費者	漏えい	消費者から販売業者に、ガスが出ない旨の通報があり、販売事業者が現場を確認したところ、消費側の配管(横引き)に屋根から雪水が落ちて配管が歪み、エルボねじ込み部分からガスが漏えいし、流量超過によりメーター遮断されていたもの。	なし
2019年1月27日	山形県	消費者	漏えい	消費者から、ガスが出ないとの連絡を受けた販売事業者が、現場を確認したところ、ガスメーターのユニオンの下流側の配管が損傷し、外れていたもの。原因は、屋根の氷が落ち、配管を直撃したものと推定される。	なし
2019年1月7日	宮城県	消費者	漏えい	店内清掃中の作業員がガス臭がしたため消防に通報。ロースターテーブルからガスが漏えいしていたもので、消防で完全に閉止していない器具栓つまみを閉じてガスを止めたもの。当該テーブルには立消安全装置がついていたが、故障により作動しなかった。	なし

## ○高圧ガス保安法

発生年月日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2019年2月26日	青森県	製造事業所	火災	液化石油ガスを消費している一般廃棄物(可燃ゴミ)焼却施設の炉においてバーナーから出火。当該バーナー等を消火し、ゴミ供給を停止し、炉を緊急停止するとともに、消防へ通報し窒素置換し鎮火を確認した。当該バーナーの酸素管及び液化石油ガス管が消失しているため原因の特定は困難であるが、バーナー先端の閉塞などにより酸素と液化石油ガスがバーナー内で混合し、炉内の高温物が着火源となって異常燃焼に至り、溶損したバーナーボディから炉内ガスが噴出したものと推定される。	物的被害:酸素バーナーボディ、酸素バーナー管他
2019年1月8日	宮城県	大学	漏えい	新規高圧ガス消費設備(届出不要)の立ち上げ作業中、実ガス(塩素ガス)での検証を行っていたところ、消費後のガスを真空ポンプで除害装置へ送る設計になっていたが、除害装置へ廃棄ラインが接続されておらずガスがクリーンルーム内に漏えいした。原因は、検証前に全配管の接続状況が確認できていないまま、ガスを流したことによるもの。	なし
2019年1月24日	岩手県	自治体	漏えい	保守管理者による定期点検において、ロードヒーティング施設を点検中に、熱交換器配管の一部が破損(亀裂)し、高圧ガス(フルオロカーボン)が漏えいしていることを確認したため、直ちに施設の運転を停止した。当該施設の修理時期は現在のところ未定。	なし

## ○石油コンビナート等災害防止法

発生年月日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況
2019年3月19日	福島県	第2種事業所	漏えい	配管置換作業(配管内を低濃度ホルマリンで置換)のために遠隔操作弁を開放したが、本来は操作しない弁も誤って開放したため、接続するタンク上にホルマリンが流入し、タンク上部マンホールからホルマリンがオーバーフローし、防液堤に0.7m漏えいした。防液堤内に漏洩したホルマリンを排水タンクへ全量回収し、防液堤内を水洗いした水洗液も排水タンクへ回収した。	なし
2019年3月12日	福島県	第2種事業所	出火	銅の精製作業を行う精製工場において、炉を動作させるモーターへの給電配線から出火し、当該電気配線の被覆及び配線ラックが焼損した。原因は現在調査中。	物的被害:電気ケーブル、ケーブルダクト他
2019年3月11日	福島県	第1種事業所	漏えい	屋外タンク貯蔵所のタンクを休止するために、同タンクから別のタンクへの油の移送開始後、定期的巡回で、移送先のタンク側の配管から、C重油が防油堤内に漏えいしているのを発見し、バルブ操作により漏えい防止措置を講じたもの。原因は調査中であるが、配管の2箇所に漏えい箇所と思われるピンホールを確認し、応急措置として、ピンホールにカップリングを設置した。また、配管内にある残油をポンプを使用してタンクへの移送を完了するとともに、防油堤の汚染土壌の回収を完了した。防油堤内の漏えい量は約150リットル。	なし
2019年2月27日	宮城県	第1種事業所	漏えい	製油所構内のタンク附属配管から油(精製処理前の灯油)が地上に漏えいしているのを確認したため、直ちに当該配管の上流4力所のバルブを閉止するとともに消防局へ通報した。漏えいした灯油は微量であり、漏えい箇所の下にある地面(砂)(防油堤内)に染みこむ程度であった(灯油漏えい量は調査中)。漏えい箇所は開口部(1箇所、口径1mm程度)であり、原因は配管側面の内面腐食によるものと推定される。	なし
2019年1月29日	福島県	第1種事業所	漏えい	職員が地上側溝に油脂類が流出しているのを確認し、消防本部に通報。調査の結果、指定屋外タンク貯蔵所の浮屋根に油脂類(重油)がしみ出て、浮屋根の排水管から、防油堤内の地上の側溝に流れ出たもの。排水口をフランジで塞ぎ応急対策を実施。	なし

## ○火薬類取締法

発生年月日	場所(県名)	事業者区分	事故の種類	事故の概要	被害状況